

## 事後評価シート

|                |   |
|----------------|---|
| 調査研究課題名        | 運輸分野における個人の財・サービスの仲介ビジネスに係る国際的な動向・問題点等に関する調査研究  |
| 担当者            | 研究官 金子 希美   |
| ① 当初目標と目標達成度   | <p>本調査研究は、諸外国における運輸分野の仲介ビジネス（主としてライドシェア）に係る動向・問題点、関連法令等の整備・運用状況等を整理し、我が国の参考となり得る情報を整理することを目的とする。</p> <p>調査研究の成果として、各国・地域における公共交通等の背景、既存業界の状況、仲介ビジネスの動向、法制度の整備・運用状況等について文献調査及びヒアリング調査を行い。安全・消費者保護の観点等から情報を収集・整理した。また各国・地域の仲介ビジネスの動向等を取りまとめることにより、国・地方公共団体・業界等関係者等の理解の増進と対応方策の検討に資するための情報を提供することが可能となった。</p> <p>したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p> |
| ② 調査研究内容の妥当性   | <p>本調査研究は、国際的な運輸分野の仲介ビジネスの動向等について、各国・地域における法制度の整備・運用状況、仲介ビジネスの動向等を調査して実態を明らかにするとともに、仲介ビジネスの影響、留意点等について検討を行うものである。平成 29 年度は調査研究の 2 年目であり、アジアの国・地域の運輸分野の仲介ビジネスの動向等を中心に、最新の情報を整理した。国内においても仲介ビジネスに関する論文等が少ないなか、昨年度の欧米調査および日本の状況も整理した本調査研究の成果は、我が国における検討にあたって有効な情報を提供し得るものである。</p>   |
| ③ 調査研究の仕組みの妥当性 | <p>調査研究を進めるにあたり、仲介ビジネスや公共交通に知見を有する学識経験者に有識者として就任頂き、調査研究の進捗の過程において随時ヒアリングを実施し、様々な角度からご助言を頂いた。</p> <p>併せて、アジアの国・地域において、運輸分野の仲介ビジネスに係る仲介事業者、既存業界団体、所掌する監督機関・担当部署といった多様な主体に対してヒアリング調査を実施し、取得した情報について検討を重ねながら整理した。</p>   |
| ④ 成果と活用        | <p>研究成果を記した報告書について、当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>   |
| ⑤ その他          | <p>当研究所が主催する研究発表会において、成果の一部について報告を行った。また、調査研究内容を PRI Review 第 69 号に掲載する予定である。</p>   |